

	目的・目標	内 容	単 位 (時間)	方 法	進 度
公衆衛生看護学実習Ⅱ	<p><目的> 地域の人々の生活と健康を多角的に捉える方法と、個人・家族の健康を保持増進するための支援方法を理解する。</p> <p><目標> I. 地域の健康課題を捉えるための地区把握の方法を理解する。</p> <p>II. 個人・家族の健康を生活の中で捉え、対象の健康管理能力向上のための支援について考えられる。</p> <p>III. 人々の生活や健康を支援する地域の社会資源を理解する。</p> <p>IV. 個から集団・地域を捉える必要性について理解できる。</p>	<p>1. 地区把握実習</p> <p>1) 地域の情報収集 (1) 既存資料、地図からの全体像の把握 (2) 地区視診 (3) 住民や関係職種からのインタビュー (4) 実態調査</p> <p>2) 情報整理、アセスメント</p> <p>3) 実習課題の明確化</p> <p>2. 継続訪問実習</p> <p>1) 訪問計画立案 2) 対象の健康状態、生活状態の把握 3) 個人・家族のアセスメント 4) 支援計画立案 5) 地域の健康課題との関連 6) 評価</p>	1 45	<p>【臨地】</p> <p>1. 地区把握実習 場所：公衆衛生看護学実習Ⅲを行う市町村</p> <p>期間：3日間 形態：個人またはグループで実習地の地区視診等を行う。</p> <p>2. 継続訪問実習 場所：郡山市内地区</p> <p>期間：2日間 形態：地域で生活する高齢者の家庭訪問</p> <p>【学内】 場所：ポラリス保健看護学院</p> <p>期間：1日間 形態：グループワーク 共有会 テーマ 「実習市町村の概要」 「地域における個人・家族に対する支援の在り方」</p>	4年次 前期